

令和5年度 第1回 佐藤小学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和5年5月10日(水) 13時30分から15時30分まで
2. 開催場所 浜松市立佐藤小学校 会議室
3. 出席委員 河合 銀平、尾上 弘、酒井 里江子、湯山 紀美代、野中 せつ子、磯部 栄里子、安富 小織
4. 欠席委員 なし
5. 学 校 伊藤 千恵（校長）、高木 康泰（教頭）、大石 葉子（CS担当）、鈴木 雅子(CSディレクター)
6. 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 雅子
9. 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、河合委員から尾上委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選出された尾上委員から、酒井委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10. 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、酒井委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11. 協議事項

- (1) 佐藤小学校運営基本方針について
- (2) 浜松市立佐藤小学校いじめ防止対策方針について
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

12. 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 佐藤小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

磯部委員 なかなか子ども達が安心してマスクを外すことができない状況だが、六年生の親として楽しく健やかな学校生活を送って欲しい。

河合委員 今年こそ修学旅行を関東方面も含めディズニーランドへ行けると良い。またコロナ禍の影響で外遊びができず体力が落ちているのではないかと不安がある。外に出る工夫や体力作りの工夫を。

尾上委員 3年間のコロナ禍で机が離れ、常に前向き状態で授業が通常になっていることを危惧している。また ICT、SNS の発達で生の対話や深く物事を考えなくなるのではないかと不安がある。対話をする事で子ども同士深い関わりを持つことができる。3年間を取り戻すには色々な課題はあると思うが、地域とのつながりを大切に、明るい未来に期待したい。

酒井委員 公園等の外遊びで少しずつマスクを外せるようになってほしい。

湯山委員 コロナ禍で消毒や健康管理など子ども職員も大変な時期を過ごしてきたが、できるだけコロナ前と変わらない生活をさせたい。学校はとてよく頑張ってくれていると思う。

安富委員 マスクで口が見えないと、気持ちが伝わりづらく対話が難しい。グランドデザインの中に『主体的・対話的で深い学び』とあるが、具体的にどのような活動をしていくのか。ICTを取り入れるメリットもあると思うが、子ども同士の対話や書く力をどう育てていくか？課題もあると思う。

野中委員 かがやき発見の実践がとても良いと思う。みんなからのメッセージは子どもも嬉しいし、親としても子どもの新しい一面を発見できた。コロナ禍で縦割り活動の実践が難しかったと思うが、また少しずつでも活動できるとよい。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 浜松市立佐藤小学校いじめ防止対策方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき、いじめ防止対策方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

安富委員 いじめや嫌がらせについて、学校側は双方に対して事実確認をするのか？当人、相手との意識の違いを正しく把握する必要がある。

尾上委員 いじめの内容は暴力なのか、心の問題なのか。悲しい思いをする子、加害者とされる子との対話。クラスの雰囲気はどうか？子ども達はお互いに理解し合っているか？直接の関わり合いが大切。心の交流をし、具体的に解決を。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業について説明があった。

特に意見や異論はなく、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項

司会から、次回会議は、令和5年6月27日(火)13時30分から佐藤小学校会議室で開催する旨の報告があった。